



C-1 指導案

本時の学習（第二次 1時のみ）

- (1) ねらい 部分をつける場所やつくり方において、立体的な部分の加え方のよさを感じ取ることができる。
- (2) 学習展開

学習活動と児童の主な意識の流れ	支援と評価
<p>1. 前時における題材の課題を確かめる（2分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「基本の形に部分を加えて 楽しい置物をつくろう」 <p>2. 題材の課題に取り組む時に大切なことを考え合う（20分）</p> <p>〈部分を加える時に どうすれば楽しい置物になるか考えよう〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きれいに切ったり折ったりすることに気をつけるといい。 ・部分が取れないようにしっかり接着しなくてはいけない。 <p>〈比べてみよう 何で○の方がよいものに感じるのだろう〉</p> <p>◆作例提示1（作例 ab の比較）を鑑賞し、気づきや考えをワークシートにメモしたあと話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回して見るとよくわかる。 ・aは前から見るといっぱい部分があるけれど、横や後ろから見ると部分がなくてさびしい。 ・bは横にも後ろも部分がいっぱいあって楽しい。  <p>(左 a, 右 b)</p> <p>◆作例提示2（作例 bc の比較）を鑑賞し、気づきや考えをワークシートにメモしたあと話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さっきはbがよかったけれど、今度はcの方がもっと楽しい。 ・bは基本の形のままで、cは全体が鳥らしい形になっている。 ・部分全体をペタンと貼るよりも、のりしろで立体的につけた方がいい。 <p>(左 b, 右 c)</p>  <p>3. 大切なことをまとめて次の製作の課題を持つ（10分）</p> <p>〈話し合ったことをもとにして 気をつけることをまとめよう〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろんな方向から見て楽しくなるように部分を想像すること。 ・部分は基本の形からとび出るようなつくり方で加えること。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>部分を加える時に大切なのは、どの方向から見ても楽しくなるように、前だけでなく横や後ろにある部分をいろいろ考えること、できるだけ部分は基本の形からとび出るようにつくって加えること。</p> </div>	<p>支援と評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現で大切な見方考え方を具体的に認識できるように、順序立てて対照的な作例を提示し、視覚的によさをとらえながら考えがまとめられるようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>比較によって思いや考えを持つことができ書いている。〈情報の取り出し〉（ワークシート）</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>自分が得られた考えをわかりやすく話そうとしたり、友だちの考えに関心を持って聞いたりしている。（行動）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・表現で大切な見方考え方をまとめやすいように、板書やワークシートを工夫しておく。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>話し合いをふり返って「部分を加える時に大切なこと」をまとめている。〈解釈〉（ワークシート）</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>部分を加える時に大切なのは、「どの方向から見ても楽しくすること」と「部分とはび出るように加えること」というように、立体的な表現にすることだと認識されている。〈鑑賞〉（ワークシート）</p> </div>

